

## 平成30年度 第1回南砺市福光地域審議会

### 【開催日時】

平成31年2月7日 午前9時から午前11時まで

### 【開催場所】

南砺市福光庁舎4階 402会議室

### 【出席委員】 15名

池田恵里子、石崎直樹、蟹野正男、齊藤勇一、澤田喜朗、高瀬須美夫、竹田宗勝、東田喜代志、得能金市、豊田正規、中村三郎、中山正次、西村信二、水口幹夫、湯淺武

### 【市出席者】

田中市長、齋藤市長政策部長、上口市長政策部担当部長、川森市民協働部長、荒木市民協働部担当部長、小森地域包括ケア部長、叶山地域包括ケア部担当部長  
柴地方創生推進課長、石崎行革・施設管理課長、藤井医療課長、市川南砺で暮ら  
しません課長  
鵜野福光行政センター長、野宇福光行政センター次長

### 【傍聴者】

2名

### 【議 題】

- ・まちづくり検討会議からの提言について
- ・地域づくり検討会議からの提言について
- ・庁舎統合後の行政センターの業務内容等について

### 【その他】

- ・公立南砺中央病院3階旧病棟の活用について
- ・庁舎統合に関連した移転などについて（福光地域のみ）

（福光行政センター長）

開会宣言

(会長)

開会あいさつ

(市長)

協議内容の説明と審議会としてご意見を伺いたい。2020年の庁舎統合に向けてご理解とご協力をお願いしたい。

また、南砺福光高校の将来について、来年度から情報収集を主に進めていきたい。

### (1) まちづくり検討会議の提言内容について・・・資料1、資料2

(行革・施設管理課長)

まちづくり検討会議と提言内容について説明。

庁舎統合を契機として旧4町にまちづくり検討会議が設置された。地域との意見交換会等を経た提言を総合計画にもしっかりと反映していきたい。

(会長)

この件について何か質問、意見はないか

(委員1)

市街地中心として旧町部・駅から西だけの提言となっており、里山のことは少しだけ触れられているのみ。駅東に開発の予定や高速道路のインターもあるのにまったく触れられていない。また、旧4町では福光庁舎が統合庁舎となり、行政センターとしての機能はなくなる。庁舎の会議室は使用できなくなり、大きな会合で使用できるのは農協会館くらいになってしまう。

(行革・施設管理課長)

地域審議会との意見交換会でもそのような意見をいただき、農産業や里山について加えられた。駅から東のことについてはこの提言では読み取りにくく、今後具体的に進めるにはまだまだ課題はあろうかと思われることから、4月以降地域の総意をとりまとめる取組みが必要であろうと考えている。会議の場所としては、農協会館は民間企業の施設であり、公共施設では、会議が開ける会館というと、福社会館、福光会館がある。公共施設の再編という観点もあり、今ある施設の活用についての検討も含めご理解いただきたい。

(市長)

それぞれの地域で、庁舎統合と公共施設再編から議論が深まったこともあり、どうしてもまちなかの議論が中心となってしまった。提言内容がまちなかに集中しているというのは事実であり、総合計画への反映についても幅広い地域づくりの意見をうかがう機会が必要だと考えている。

(委員 2)

提言について文言がわかりづらい。多様な相談所とは、人のことなのか場所のことなのか、何のことが書いてあるのかわかりづらい。漠然としていて、誰がどうしてもどこでという具体的な表現でないとどうとでも読み取れる。多様な価値観があり多様な人がいるので、具体的に表現しないと前に進めない。

自分の地区では、交流人口が増えるということや新しく家を求めたり昼間人口が増えたりといった基礎的ものは変わらないが、西太美では、空き家対策というわけでもないがいろんな人が入ってきている事実がある。

これがまちなか回遊エリアに盛り込まれていない。また、福光地域は中山間を抱えていることからそういったことも盛り込んでおくべきだろう。

(会長)

市としての対応を聞かせてもらいたい。

(行革・施設管理課長)

委員のおっしゃる通り、提言に主語が抜けていては話が進んでいかない。

課題の整理を内部で行っており、4月以降に地域の方たちともやりとりしながら取り組んでいくことになる。

(委員 3)

「福福福」とはどういう意味か。どのような意図でつけられたのか？

(行革・施設管理課長)

福社会館、中央図書館、庁舎をつなぐと三角形になることから、親しみやすさということで委員さんのアイデアでつけられたようだ。

(会長)

「福」が3つで「福福福（ふくみっつ）」ということのようです。

(委員 3)

始めて聞いたもので、わからなかった。了解しました。

(委員 4)

自分は、途中からまちづくり検討会議のメンバーとして参加していた。庁舎統合ということが提案され決議されたが、付帯決議でまちを形成する庁舎がなくなり町の賑わいはどうなるのか、それがなくなったときどうするか、地域の皆さんで検討する会議をもうけたのがこのまちづくり検討会議だと認識している。

その後、統合庁舎が福光に設置されると決まったことで、福光地域ではこの会議はなくなってもいいのかなという考えも出てきて、目指す方向がわからなくなった。そのような経緯もあり、統合庁舎が福光に決まったことでこの検討会議の提言について福光は他と比べて異質だと思う。

(委員 2)

反論するわけではないが、当事者地域として自分の地域はそのような楽な話ではなかった。(自分の地域では)福光の一等地と自負しているにもかかわらず、議会で試行錯誤している2年半で10軒も減った。これから住民が入っていく原点として地域づくりというものを始めたのではなかったか。福光地域は11地区もあり温度差もあることから、どこで話をしているのかわからなくなることも問題だ。

(岐阜県の)恵那市という例もある。これは県の知事政策局も推薦しているが、地域というものをもういちどしっかりよく考えましょう、ということで地域組織自体をすべて解体している。そして、もう一度組み立てなおしている。合併したら一体感がなくなるといわれるが、行政機関で一体感というのはなかなかむずかしい。

統合庁舎があるから又はないからという話ではなく、もっと次のステップを歩まなければいけない。問題点は同一ではない。どこへいっても同一ということはない。同一ではないからこういうことが起きる。なんとなく同じように若い人の意見を聞いた方がよいということのようだが、しっかりと注意すべきは注意していかなければいけない。おかしいとはいわないが、もっと真剣に考えなければいけない、

(委員 4)

おっしゃったとおり、あやふやな言い方に終始して文言がわかりづらい提言になったかと反省している。

(委員 2)

ここに現れて来ないところで、我々もいろいろなところでいろいろな議論をして

いた。そのことをご理解いただきたいということだ。

(委員5)

庁舎統合がきっかけのまちづくり議論というのは少し寂しい。福光地域は課題も多いことから、庁舎統合をきっかけに原点にたちかえって、もっと幅広い議論ができるのではないか。行政や関係機関のパイプ役としてももう少し掘り下げていけば、今から新しくやろうとしている小規模多機能をうまく取り入れていくこともできる。

広くいえば里山と商店街との結びつき、よく言われる「農業と産業の6次産業化」を推進するといった意味でも、福光町のなかでの地産地消といったことを広く深く生かすことができるのではないか。広く深く議論できればいい。

それともうひとつ、福光地域ではなくなるものとして福光高校がなくなる。これは県の所轄かもしれないが我々もいろいろセッティングができるのではないかと思うので、もっともっと議論していけばいい。

(会長)

4月から新しく検討組織を設立するということだが、今日のこの委員さんの意見も十分取り入れながら検討委員会をもう一度立ち上げていただきたい。

(委員2)

若い人の意見も聞かなければいけないし、色々な人の意見も聞かなければいけない。ただその中に全くの門外漢、初歩的な、幼稚な議論を続けなければいけないのか。せっかく自治振興会という組織があるわけだから、都市計画の専門家なども入れてもっとしっかりと議論する必要がある。

(委員1)

まちづくり検討会議というには、行政センターがなくなることだけではなく、町全体、ひいては市全体がどのように進むのかなということを重点的に、議論してもらえればよかったのかなとも思う。

検討会議を行っていたのは知っており、地区のことをより詳しく聞き出すために自治振興会のほうに意見聴取でもあるのかなともおもったが、そのようなことはなかった。言い方は悪いが旧市街の駐車場も何もないところにいろいろつくってみたところでどうにもこうにもならない。もっと幅広く意見を集めてほしいとも思った。

(委員2)

我々は高校の統廃合の問題でも、前の議員さんに意見を聞くなど色々調査した。

福光は、財政的な観点から統合庁舎にせざるを得ないにもかかわらず、あっちもこっちも開発してくれという、いわば「ダッジロール」を起こしている。これは反省しなければならない。開発してくれというにしても一点集中してからにするべきだ。

そういう経緯を再認識したうえで議論に入っていただきたい。

(市長)

いろいろな意見、ありがとうございます。このまちづくり検討会議の委員さんたちは真剣に考えておられる。もう少し、広い視野、高い目線を意識して今後検討していきたいと思っている。4月以降、また皆さんと議論を進めていきたいと思う。

福光では高校の話がよく出ていますので、情報収集等を進めていければと思っています。まだ子供たちが通っているので、この段階で表立ってはできないが。

今後ともご協力よろしくお願ひしたい。

#### 地域づくり検討会議の結果について・・・資料3

(地方創生推進課長)

地域づくり検討会議について説明。

10年後に目指すべき姿を会議によって検討。

(特に意見はなし)

#### 庁舎統合後の行政センターの業務内容等について・・・資料4

(市民協働部担当部長)

庁舎統合後の行政センターの業務内容等について説明。

庁舎統合に伴う行政センターのあり方について説明。

(特に意見はなし)

## 公立南砺中央病院 3 階旧病棟の活用について・・・資料 5

(医療課長)

公立南砺中央病院 3 階旧病棟の活用について説明。

(委員 2)

病院スペース、地域包括支援センターサテライト、訪問看護ステーションとあるが、4 階～6 階のエレベーターの使い方はどうなっているか。

患者さんや保健センター等へ来られた方のプライバシーなど難しい問題もあるため、導線の確保が重要となる。

(医療課長)

導線については、エレベーターが院内に 5 台ある。そのうち、2 つを使い分けることを考えている。

(委員 2)

経営面での影響も考えられるため、導線の確保をしっかりとってほしい。

(地域包括ケア部長)

駐車場を増設するので、検診時などの保健センター利用者は専用の入り口を使って入って頂くことになる。

## 庁舎統合に関連した移転などについて・・・資料 6

(行革・施設管理課長)

庁舎統合に関連した移転などについて説明。

現福光保健センター建物の利活用について説明。

(委員 6)

保健センターの車庫が吹き抜けになっているが、2 階にして書庫を増やすということとはしなくてよいのか。

また、福光庁舎周辺の駐車場などはどうなるのか。

(行革・施設管理課長)

車庫、物品庫について、現在あるもので活用していきたいと考えている。また、書庫等が不足する場合は、新たな施設を整備するというよりも既存の施設を活用することを考えている。

福光庁舎周辺の駐車場については、もともとある駐車場を中心に考えている。また、福光福社会館の横の旧福光保育園の跡地の半分程度、中央図書館の横の大きな市営駐車場、を職員駐車場として活用することを考えている。

保健センター跡地で予定していた駐車場につきましては、自治振興会のご理解を得て吉江公民館の駐車場の半分程度をお借りさせていただくことになっている。さらに、かがやき保育園の職員駐車場の利用も考えている。

(委員2)

庁舎の周辺に駐車場がこれほど多いところは他にはない。良いことかと思う。駐車場がありすぎて過疎化になることはない。

(会長)

福光高校の今後について、もう少し詳しく教えていただきたい

(市長)

県の予算となるが、来年度の予算の中で調査研究からスタートして、色々な方の意見を聞いて委員会等を開催するなど、色々な可能性の調査を検討していきたい。

ただ、まだ生徒さんが通っているのでそこまで明確に発表できる段階ではない。情報収集、検討をするための準備調査をさせていただきたい。

(会長)

子供たちもいるので、考慮しながら。

(市長)

そうです。高校の跡地を整備していただきたいのはもちろんですが、県との情報のやりとりが必要になってくるので、まずはそこからスタートさせていきたいと考えている。

(会長)



ありがとうございます。

(副会長)

閉会あいさつ

南砺市は小規模多機能、庁舎移転、地域づくりのことなど課題がたくさんある。私自身も気にしていたが、地域づくりのことについてたくさん意見が出ており、これからよりよい方向に進んでいくことを願っている。

いろいろな意見が出た。地域のことをよく知り理解した上ですすめていくべきではないか、若い人も大切ですが多様な年齢層が必要ではないか、広く深く考えてほしい、農業・工業・商業の面からも考えていかなければいけない、専門家も入れてという意見もあった。何より大事なのは、地域の人々の理解ではないだろうか。

小規模多機能だけではなく、地域づくりについても同じようなことが言えるわけで、今日のまちづくり検討会議の提言もふまえて、よりよい方向に具体的に進んでいくことを期待している。

(福光行政センター長)

閉会宣言